

親子ドッジボール

- 1・2年：親子逃げ玉入れ
- ▶ 3～6年：親子ドッジボール

親子ドッジボール（スケジュール）

会場スケジュール：体育館（逃げ玉入れ兼用）

	競技実施学年 (体育館)	準備学年 (校舎1階)
8:30~	-	1年
9:00~	1年	4年
9:30~	4年	2年
10:00~	2年	5年
10:30~	5年	3年
11:00~	3年	6年
11:30~	6年	-

親子ドッジボール（基本ルール）

- ▶ 参加人数：各クラス1名～上限なし
- ▶ 参加資格：クラスに所属する子供、その保護者または親族
- ▶ 競技方法：同学年のクラス（1組～3組）による総当たり戦
- ▶ 競技回数：各クラス2回
- ▶ 勝敗順位：各試合の勝敗結果にて得点を決定する
- ▶ 獲得点数：勝ち＝**500点**、引分け＝**300点**、負け＝**100点**、不参加＝**0点**
- ▶ 加点要素：対戦相手の人数を上限に、他のクラスから助っ人を呼べる
助っ人の所属クラスにはフレンドポイントとして一人**20点**を加算する
- ▶ 減点要素：助っ人による減点は無し
- ▶ 競技場所：体育館の全面バスケットコート
- ▶ 待機場所：体育館のステージ上
- ▶ 準備場所：校舎の1階廊下

親子ドッジボール（準備）

■ 準備場所：

- ・クラスごとに列を作って並ぶ
 - ・クラスごとに参加する人数を確認する
 - ・各試合時の最大競技参加人数を確認する
 - ・助っ人の人数の確認をする
 - ・競技のルールを確認する
-
- ・待機チームの大人には審判の補助をお願いする

親子ドッジボール（競技ルール）

▶ 競技場所：

- ・ 待機チームはステージ上にて待機する
- ・ 初期外野の10人はビブスを着用する
- ・ ビブス着用者は**試合開始4分以内**であれば、内野に戻ることが出来る
- ・ ビブス着用者がヒットされた時はステージに上がり退場とする
- ・ 外野からの復活はしない
- ・ ボールは2つ使用する
- ・ 両チームに1つボールを渡し、スタートの合図で競技開始する
- ・ 顔面や頭部への攻撃はセーフとする
- ・ 当てられてもボールが落ちる前に拾えばセーフとなる
- ・ 試合終了時に**内野**にいる**ビブス着用者**の人数で勝敗を決める
- ・ 外野にいるビブス着用者は勝敗人数に含めない
- ・ 試合終了時に勝敗の確認をする
- ・ 外野から外野へのパス回しもOKとする

親子ドッジボール（移動ルール）

- 移動先：1組

①試合目	②試合目	③試合目			
Aコート	Aコート	待機			

- 移動先：2組

①試合目	②試合目	③試合目			
Bコート	待機	Aコート			

- 移動先：3組

①試合目	②試合目	③試合目			
待機	Bコート	Bコート			

親子ドッジボール（会場説明）

ビブス着用者の
アウト時もステージ

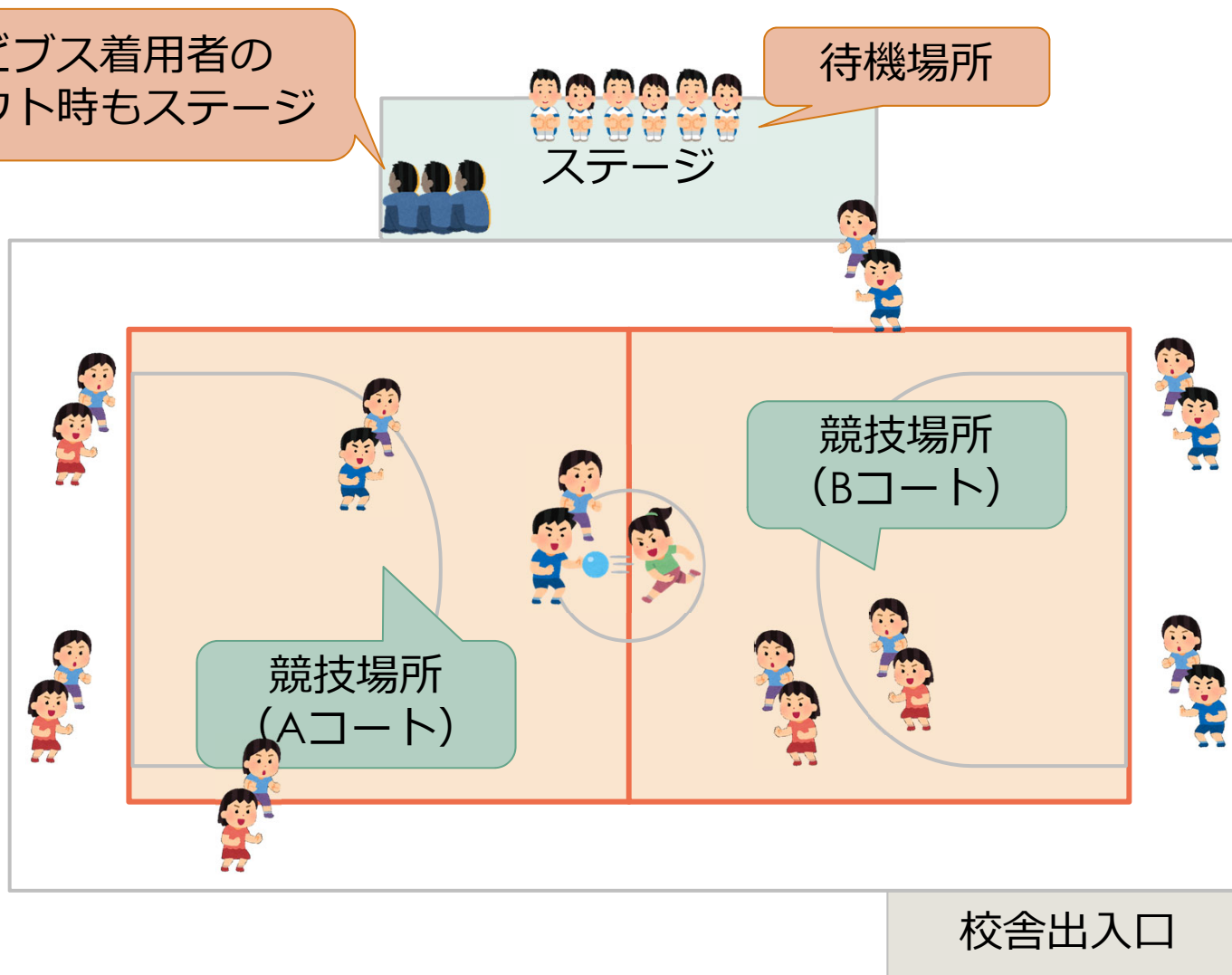
待機場所

ステージ

競技場所
(Bコート)

競技場所
(Aコート)

校舎出入口



親子ドッジボール（対戦表）

対戦スケジュール：

1 試合目 1組（Aコート） × 2組（Bコート） : 3組（待機場所）

2 試合目 1組（Aコート） × 3組（Bコート） : 2組（待機場所）

3 試合目 2組（Aコート） × 3組（Bコート） : 1組（待機場所）

試合時間：

1 試合あたり 5分

ビブス着用者がいなくなった時点で即終了とする

また、内野に誰もいなくなった時点で即終了とする

移動と準備：

1 試合あたり 5分

親子ドッジボール（得点例）

参加人数：

1組 = 10人、2組 = 40人、3組 = 50人

対戦結果：

1組（10人+3組から30人助っ人） × 2組（40人） → 1組の勝ち

1組（10人+2組から40人助っ人） × 3組（50人） → 1組の勝ち

2組（40人+1組から10人助っ人） × 3組（50人） → 2組の勝ち

対戦成績：

1位 = 1組（2勝0敗） → 1000点

2位 = 2組（1勝1敗） → 600点

3位 = 3組（0勝2敗） → 200点

助っ人による加点：

1組 = 10人 × 1回 × 20点 → 200点

2組 = 40人 × 1回 × 20点 → 800点

3組 = 30人 × 1回 × 20点 → 600点

最終得点：

1組 = 1200点、2組 = 1400点、3組 = 800点

参加人数により1位になっても得点は逆転されることも！